てんとう虫コミックス スペシャル
ポケットモンスター
14
SPECIAL
シナリオ 日下秀憲
まんが 山本サトシ
©Pokémom.
©1995-2000 Nintendo／Creatures Inc.／GAME FREAK inc.
てんとう虫 コミックス スペシャル
ポケットモンスター
SPECIAL
14
まんが シナリオ
日下秀憲
山本サトシ
小学館
TCS-9714

■作者のことば

KUSAKA Hidenori ●くさかひでのり

日下 秀憲

皆様の応援のおかげでこの漫画も14巻目、『金・銀・水晶編』だけで数えても7冊目です。でも気づくと…あれれ!? 7冊って第1章と第2章を合わせたのと同じ冊数じゃないですか! う～む! …というわけで1章+2章よりもさらに長い物語となった第3章! 14巻はその最終戦です! ぎっしりつまった超激闘、思う存分楽しんでくださいね!!

YAMAMOTO Satoshi ●やまもとさとし

山本サトシ

7人の主人公はもちろん、ジムリーダーやサブキャラクターにもドラマがある一大群像劇、それが『ポケモンスペシャル』です。そして、それぞれのドラマが最終決戦にむかって集束し、かくされていたナゾが明らかになっていきます。セリフの一言一句、小さなコマのかたすみも見落とさないでください。彼らの想いを感じてください。
みんなを『泣かせてやるぜ!!』

ポケモンスペシャル公式ホームページ
http://netkun.com

>>> Cover Illustrated by YAMAMOTO Satoshi
>>> Cover Designed by KAWAMATA Noriko (CUZCO MUCHO)

てんとう虫コミックス
スペシャル
ポケットモンスター
14
SPECIAL
シナリオ 日下秀憲
まんが 山本サトシ
©Pokémon.
©1995-2000 Nintendo／Creatures inc.／GAME FREAK inc.

ポケットモンスター

SPECIAL 14

今までのお話し
& STORY
シルバー
仮面の男に捕えられていたが脱走。男に復讐を誓う！
クリス
『捕獲の専門家』。ゴールドとともに会場に潜入するが…。
ゴールド
本編の主人公。時間の支配をもくろむ敵、仮面の男に挑む!!
イエロー
ブルー
グリーン
レッド
各町のジムリーダーたち

登場人物とCHARACTERS

仮面の男 マスク・オブ・アイス

R団残党員を再組織したナゾの男。
ルギア・ホウオウを率い会場を急襲！

ロケット団残党員

開会イベントのジムリーダー対抗戦にもりあがるリーグ会場。だがそこに仮面の男とR団残党員が侵入、さらにルギア・ホウオウの破壊攻撃で会場は大混乱に！　仮面の男を捕えるべく会場に来たゴールドは反撃の機会をうかがうが…。

もくじ

LUGIA

HOUOU

●第167話●

最終決戦Ⅰ

さいしゅうけっせんⅠ

ゴゴゴゴ

くくくく。

ダッ

時間をとらえる、モンスターボールを!!

!?
!!

お、おい クリス! 今、あいつ なんつった!?

クリス…と いうのか?
フフフフ さっき おまえが使った〝みらいよち〟。あれはいい技だった。

数秒先の・・・ 未来に向かって 攻撃できる。

ほんの わずかだが、
・・・・・・時間を自由に したわけだ。

て、てめえ なに 言ってんだ!?
3年前…。

旧ロケット団がカントーを拠点に暴れまわっていた時期があった。
彼らの目的は「金」や「物」。物質的支配だった。
1年前、四天王と名乗る連中が町まちを消し去ろうとした事件があった。
彼らの目的はポケモンの理想郷をつくるための土地。空間的支配だな。

だが物質的支配も空間的支配も私にとっては興味がない!!
私がほしいものはそれ以上の価値がある!!
そう!それが「時間」!!
時間!?
「時間の支配」!!
ガンテツよ、おまえならできるはずだな。
「時間をとらえるというモンスターボール」をおまえなら作れるはずだ!!

な、なんのことや
「時皿をとらえるモンスターボール」やと!?
そんなもん…の作り方なんぞわしは知らん…。
これでも知らないと言えるか!?
ギュッ
お、おじい…ちゃ…。
や、やめろォォォォ!!
なんてことを!
ぐぐぐ…。
強情なヤツめ…。
ならば…、
うばいとるまで!!
!!
そ、それは!!

おまえがこの「特殊玉作成秘伝の書」をつねに肌身はなさず持ち歩いていることは知っていた!!
おお!書いてある!!
ヘビーボール、ルアーボール、レベルボール、スピードボール…
そして「書」の最後には…
そ、そうはうまくいくか!!作り方はわかっても材料がなければ作れへんぞ!!
ボール内部の捕獲網…、キャプチャーネットを編むための糸がなければ…。
それも用意してある。
キャプチャーネット用の材料、それは…。
な!?
あそこだ!!

プシュッ!!
「にじいろのはね」と、
それは!
「ぎんいろのはね」だ。
これらをつむぎ
捕獲網とする!
そう!
それこそが…フフフ
時間のはざまに入りこむ
唯一無二の方法!
そんな…。
フ…フフ!
ウワハハハハ!!
ふざけんな!!

だったら、なにか?

こいつらはそのためだけに…そのためだけに捕まえられたってのか!?

ふざけんなよ!全部道具かよ!?全部材料かよ!?

ポケモンリーグも!ガンテツ師匠も!修行させたシルバーたちも!いや、ロケット団残党さえも!てめーにとってはただの道具なのかよ!!

どうなんだ!?

……。

てめえにとって
ポケモンって
なんだ!?

てめえの言葉で
答えてみろ!!

はっきりその口で
答えやがれええ!!

道具だ。

ざけんなあああ!!!

ふんぬっ!!

しゃがめクリス!!

きゃっ…。

ぐあっ!!

ゴールドオォ!!
やめてぇ!!
もう
やめてえええ!!

…必要なものはすべてそろった。
おまえたちにもう用はない。

…ま、
負ける……か…よ。

アイツ…を止めるまで…オレは…。
負けるかよ…クソッ…、

タ……レ…。
ドサ…

これで私はふたたび「時間のはざま」を見出すことのできる存在となった！
フフフあとは…、
「ときわたりポケモン」の出入口であるあの場所へ向かうのみ…。
さあ、旅立とうぞ！
失った過去を取り戻す…、
時間の旅へ!!
ジムリーダーたちも全員リニアに隔離した今！
私を追って来られる者などおるまい!!

第168話　最終決戦Ⅱ

まさか、はじめからオレたちを会場から引き離すのが目的だったのか!?

くっ!!

キリがありませんわ!!

うっとうしい!!

この残党たちの動き自分の意志ではないな!!

操られている!!

こいつらをまとめる実力者がこの騒動の裏に存在する!!

第168話 最終決戦II

きさま、対抗戦が始まってから
ほとんどの時間席を立っていたな?
何かを仕込んでいたのではないか?

私はかまわんさ。
それよりみんなは、
ほかの車両の助太刀を…!!
……。
無理しないでカツラさん!!
さあ行くわよ。
スタちゃん!!
はあああ!
すごい気迫ですわカスミ…。
何かを覚悟している。
…はっ。

カスミ。
え？
この戦いが終わったら自分の気持ちに答えを出すつもりなんでしょう？
だったら少しは飾り気があってもいいはずですわ。
エリカ…。
さあ！まずは退けても退けても向かってくるこの軍団をどうするかですわ!!
うん！

"でんじは"!!
むう!
ハア、ハア、
キミが言ってるのは
カントー四天王の将
ワタルのことだな?
兄者とは?
兄妹弟子でもあり
いとこでも
あるからだ!!
なんと…!
我が竜の里、
ドラゴン使い一族
先々代がもうけた
2人の跡取り候補。
それぞれが
我が父と
兄者の父だった。
兄者の父は
実力的には
我が父より
勝っていたが、
他の町の女性と
恋に落ち、
先々代
フスベの女性
トキワの女性
先代の兄
先代
フスベの女性
ワタル
イブキ
結果、跡目を
継ぐことが
できなかった…。

兄者も里を出て行ってしまった。
だが、このイブキにとっては…。
さあ答えよ!
兄者はどこへ行った!!
"げきりん"!!
なにィ!?
"げきりん"を押し返すほどの力…! いったい…。
ゴゴゴ

あれは!?
うわあああ!!
ドン!!
もし…、
ワタルの身を案じているのならこれだけは伝えよう。

おそらく彼は生きている!
このくたばりぞこないの私ですらこうして生きているのだから…。
少なくとも彼は私よりも強かったよ、肉体も…魂も!!
ったく、
てめえら何勝手なことしてやがんだ!?

"オクタンほう"!!

ぐはっ!!

ついには
オレの声まで
忘れちまったか…。

…いや、

操られているだけだ!!

自分の意志をなくしちまったおめえらは、「牙」を失った獣よ!!

思い出せ！オレたちは「牙」だったはずだ!!

中隊長を張ってたおめえらなら覚えてるだろう!?

組織を結成したあの日、首領が言った言葉を!!

オ…おおオオ。
そうだ！あの時首領が言った団員のあり方!!
その頭文字を取ったものがそのまま組織の名前になった!!

取り戻すんだ!!
オレたちの誇りを!!

ハア…ハア…
マチス様。

オ、
オレたちは…。

フッ、
ようやく
思い出したか。

それでいいぜ！
そして…。

この場はおまえらに
まかせるぜ!!
おまえらが
すべての団員の
目をさまさせるんだ!!

マ、マチス様は!?

しかもこの前方3両は速度を増しつづけている!!

第169話
最終決戦III

く…!!
このままだと…!

ハア…ハア…
なんとかならないのか!?
……。
ポケモンの力を使っては…?
そうだ!
直接、地殻に震動を与えそのエネルギーで車両を止められたら…!!
ツブテたちよ!!
ガムッ
"マグニチュード"!!

ダメだ！そんな小さな力では!!
くそっ!!

ピコーン

なんとかプログラムが修復できた！
このままいけば時間はかかるがいずれ列車は止まる。

路線が…、
行き止まり!?

グリーン、た、たしかに停止プログラムは復旧しています。
…でも。

引き込み線にレーンチェンジしてしまっているのか!?
ブレーキが働くための距離が圧倒的に足りない！

このスピードで行き止まりに突っ込んだら…。

一方、分断された後部車両では…。

ぽわ～ん

〝メロメロ〟や！

ハア…ハア…おおかたやったったで。

ポケモン回復したかったらミルたんの〝ミルクのみ〟を使ってーな。

お、おいリニアの様子が変だ。

それにさっきまで入り乱れていた残党員たちの数が急激に減ったような!?

そりゃほとんどが切り離した前方車両にいるからさ。

You see!?
切り離したァ!?
ああ
このオレがな。
そして、
すでにこの後部車両は
逆走を始めているぜ！
セキエイに戻るべくな!!
なぜ
そんなことが!?
フッ、
リニアといやあ
磁力で走る列車！
そして磁力を
生み出すのは
電気エネルギー！
オレの
エキスパートは？
「電気」…。
だが
リニアを逆走
させるほどの
大きなパワーは
どこから!?
ここだ!!

カツラさん、伝説の3匹に選ばれたもう1人のジムリーダーって…。
うむ。

ライコウ!!

マチスのスーパーボールの中にいるのは、
おそらく…、

ライコウ…。

なぜマチスのような男に…と思うがこれまでの過去はともかくこの男、
かつての部下であったロケット団団員たちを利用されて怒っているのはたしかだ!

ライコウはそこに自分との共通点を見出したのかもしれない。

さあ！ セキエイはもう目の前だ！ リニアが着くまで待ってられねえ！ 先に行くぜ!!

カスミ！ 私たちも行くぞ！

ハイ！

待て、マチス!! 作戦を説明する!!

ああン!?

いいえ！そんなことはないわ!!

第170話　最終決戦Ⅳ

何者だ!?
キミたちは…!!
スイクン、ライコウ、エンテイ!!
「焼けた塔」からよみがえった3匹があなたを止めに来たわ!!
そしてわたしたちはそれぞれ彼らとともに戦うべきものとして選ばれた、
最終決戦IV

水・炎・電気のエキスパート!!
第170話

むおお!!
そうやすやすと行かせんぞ!!
あれはスイクン!!
そして ともに焼けた塔から よみがえった という ライコウと エンテイも!?
スイクン、ライコウ、エンテイか!!
おとなしく塔のすみで眠っていれば よかったものを!!
むん!!

来い!!

ルギア!!
ホウオウ!!

″せいなるほのお″!!
″エアロブラスト″!!

フハハハ
トレーナーと組んだくらいで力の差が埋まるものか!!

むしろ本気が出せないだろう!!
おまえたちがもし全力を出せば高密度のエネルギーフィールドが発生しトレーナーは呼吸もできなくなる!!
たしかにそうだ!…だが!!
!?

遠慮はいらない!!
思う存分力を出してくれ、エンテイ!!
小型の酸素ボンベ!!
ポケモンが力を出し切れるように考えられたトレーナーとしての準備!!

私が投げたのはかつてグレンの炎で焼かれたという「もくたん」!!

私たちジムリーダーはエキスパートとしてこの3匹の力を高めるすべを知っている!!

私のは「しんぴのしずく」!!水タイプの技に威力を加えるわ!!

それが私たちを信じてくれたスイクンたちへの応えだし、あなたを止めるもっとも効果的な方法だわ!!

こしゃくな!!
ガッ
きゃ!
スイクン!!
ザリァァァァァ
〃あまごい〃!!
私はスイクンの言葉はわからない。
でもスイクンのメッセージを受け取り古代文字にあらわしたスタちゃんを通じて知ったわ!!
ギッ
ギッ
この9年の間に何があったのかを!!

あなたは9年前も伝説のポケモンホウオウをその手に捕えていた！
そしてホウオウが見定めた各町の「トレーナー能力の高い子供たち」を連れ去った！
目的はおそらく「時間の支配」!!それに関する調査や研究をその子供たちに行わせるため!!

でもそんなあなたの計画を、
ホウオウを使って悪事を働く計画を許せないと思うポケモンたちがいた！

それがこのスイクン！
ライコウ!!
エンテイだった！

フフフ、そうだ！その3匹はホウオウの力によって誕生した！自分たちの塔主としてホウオウをしたっている！
いわば「ホウオウ親衛隊」！だから私が許せなかったのだろう…、戦いを挑んできた、無謀にもな!!

その戦いによって
スイクンたちは
みごとホウオウを
あなたの手から
解放させることに
成功した！
…でもそのかわり
あなたに封印
されてしまった！
焼けた塔の片すみに!!

フハハハハ！
そこまで知って
いるのなら
今回の結果も
わかるだろう？

かつて私に
かなわなかった
ものたちだ!!
同じことよ!!

わが塔主
ホウオウ様!!
われらのことを
思い出して
ください!!
150年前、
あなたさまより
命をいただき
ました!!

どうか
悪しき呪縛から
解き放たれて、
再びわれらを
仕えさせてください!!

さあ
手をはなせ!!
いいえ!
絶対に
行かせないわ!!
それが
スイクンと
かわした約束!!
この戦いに
挑む前に誓った
自分自身への
約束!!
あなたを
ここから先には
進ませない!!
たとえどんな
ことがあっても!!
そんなことが
できるものか!!
できるわ!!
よく見て
みなさい!!
!!
スイクン!?
しまった!!

あれは!!
伝説のポケモン
スイクンが
敵の行く手を阻むため
作り出すという結界…。
そう!!
水晶壁!!

たとえ今、倒れているとしても何度だって立ち上がって、自分の意志をつらぬく!!

それが…オイラの知ってるゴールドでやんす!!

ゴゴゴ

第171話　最終決戦V

スイクンが手加減してあなたのまわりの壁をゆがませているから体がちぎれずにすんだのよ。

われわれがルギアたちを引きつけている間にカスミが仮面の男と組み合う!
そこをスイクンがカ・ス・ミ・ごと水晶壁で囲む!!
ギリギリだったがなんとかあんたの作戦どおりにもっていけたな!カツラの旦那!!

でもこれで動けないでしょう!?

へへへ、じゃあさっそく拝んでやろうじゃねえか。

このくされ外道の!
素顔ってヤツをよォ!!

邪魔を…、

第171話
最終決戦V
するなァ!!
マチス!!
ぐっ…
げふ!!
うわああ!!

……。
フン…。
!!
こざかしい!!
カツラさん!! マチス!
ど、どういうことだ!?
体がちぎれても腹に穴が空いても しゃべっている…、動いている…!!

スイクン！
私たちも
加勢に…。
!!
スイクン!?
スイクン！
どうして!?
フフフフ
よく見てみろ!!
ゴース!!
これ…、
ゴースの
〝のろい〟!?
知らない間に
〝のろい〟を
かけられて
いたの!?
フフフフ、
水晶壁を
はったことが
あだになったな。

この結界・水晶壁を
消すことができるのも
またスイクンだけ!!
結界の術者である
スイクンがその
結界内で倒れて
しまった時…、
今度はおまえが
外に出る手段を
失うのだ!!
きゃあ!!
…う。
ドザッ
ゴース、
この場はまかせ
たぞ。

ガガガガ
ゼェ…ゼェ…
い…息が…。
…ゼェ…。
パタ
パタ
は、早く!!
さっきの酸素ボンベを!!
…く…。
うう。
逆に、閉じ込められてしまった!!
わたしも一度経験したからわかる!
この水晶壁は最強の結界!!
突破するためには…!
スイクン!
スイクン!!

あれ？
この音…。
秋の風は
うつりぎ…。
…ただそれが
やるせない。
…誰かいるぞ!!
水晶壁の中に
カスミ、スイクンのほかに
新たな影が!!

わがいとしい
スイクンに
これほどの
仕打ちをしたこと、
…許せないなあ。

ミナキさん!!

カスミ、しっかりしろ!
よかった…。

そうだ!ゴールドもいっしょに手当てを…。
パタ
パタ

ゴールド!?

いない!ゴールドが…。
まさか…!!仮面の男を追って…。

理事!!

おお、キミたちは!

我われもロケット団残党を倒したあとリニアを逆走させて戻ってたんです!!

今、見えた飛び去った影はオーロラビジョンに映っていた人物!会場をここまで破壊した張本人ですね!?

ああ本当にとんでもない敵だった!

あれは、

あれは人間じゃなかったのだ。

たしか
前にも、
そんなことが…。

ア、
アカネくん？
どうした？

ガタ
…わ、
ガタ
わかってもうた…。

この会場を
襲った敵の
正体は…、
あの人や…!!

ぜってー、
ぜってー逃がすかよ…。
ハア…ハア…。
待ち…やがれ…。
フフフフ
これで…、
やっと…、
やっと会える。
私の
ラ・プルス！
ラ・プリス!!

ルギア!!
ホウオウ!!
この先に
イッキと
カリンが
待っている。
ひと足先に
行っていろ!!

あとは…。

この網を
ボールに
しこんで完成…。
フフフ。

その間だけ
あの場所に誰も
近づけるな。

月の満ちかけの周期に
呼応して「ほこら」に
「光」が舞い戻る
今日の夕刻。
…間に合った!!
ザザ
ザザ

ハア、ハア、
間に合った…
だと!?
そうはいくかよ。
寝言は
寝て言え!!

おまえは!?

…ァ、ハァ
…追って…
…たぜ。

かつて私に
ウバメの森で敗れ、
いかりの湖で敗れ
セキエイ高原でも
敗れ、それでも
まだ挑戦してくる…。

そのあきらめの
なさだけは
評価して
おまえの名を
聞いておいて
やろう。

オレは
ワカバタウンの、

ゴールドだぜ!!

第172話 最終決戦VI

ギュッ
その体でなんで動けるのか、
そんなこたぁどーでもいーぜ!!
ギュッ
てめえを止める!!
気合いで行け!エーたろう!!ウーたろう!!
ザザザザザ
ハァ、ハァ…どーでえこのすばやさ!!
"こうそくいどう"だ!!
フン!

メキキキ

エーたろう!!

ちぎれた腕がまた生えただと!?
フフフ。
パキイイン

氷の…、体…!!

そう！空気中から水分を取りだし凝固させる。
それによって、私のこの体は何度でも修復できるし…、大きくもできる！

にゃろおおお!!
ムダだ!!
もう
あきらめろ…。
おまえは
勝てない!
フラフラ…
ハァ、…ハァ
そうだな…。
勝てそうに
ねーや…、
もう…、
あきらめるか…。
!?

なく〜んて
言うと
思うか？

カ〜〜〜バ!!

!!
コロコロコロ
カッ
カッ
カッ

何をする
つもりだ!!

!?

バカな!!

いつの間に背後に回っていた!!

へへへ、ウーたろうの「すばやさ」に驚いてんのか?

まさか!!

ぬうおあああああ!!
そう来ると思ったぜ!!
キマたろう!!
カッ
む!?
巨大な太陽…、
いや!?

"にほんばれ"!!
ゴオオオオオ
ぬおお!!
追いつかない!
空気中の水分を凍らせて我が体を補強するよりも速く…。
ポタ
ポタ
ポタ
"にほんばれ"で高まった炎技が…、
体を…溶かす。
ポタ
ポタ
ハァ…ハァ…どーでえ!?
ニョたろうが"ほろびのうた"でデリバードと相討ち、
エーたろうからすばやさを引きついだウーたろうがてめえを押さえつけ、
マンたろうに乗ったキマたろうが上空から"にほんばれ"。
それを受けパワーアップしたバクたろうの炎技がてめえを溶かす!!

ハア、ハア
これがオレたちの
全員攻撃だぜ!!
1匹1匹が
オレの大事な
相棒たちだ!!
ポケモンを
道具呼ばわりする
てめーにはわかんねえ
だろーがなア!!
うおおおおおお!!
さあ!!
正体を
現せえ!!

スウッ!!
ミナキさん!!
ゼェ
ゼェ
フッ。
きゃあっ!!

危ない!!

逮捕する!!
ガシャ!!
ハァ…ハァ…ちぎれた下半身…。
いったいどうなって…。
氷のかたまり!?

わかったって!?
この会場を襲った犯人が!?

うん!
オレも今、おそらく同じ名を想像している。

だ、だだだだ誰なんだあっ!?

おじいちゃんや…。
チョウジのジムリーダー、
ヤナギのおじいちゃんや。
…て、
てめえは…!!

第173話　最終決戦Ⅶ

第173話 最終決戦VII

そう！ウバメの森。

ウバメ

ブルー、そこよ!!"こわいかお"!!

ギロ

見つかっちゃったか…。

おまけにそのブルーの〝こわいかお〟ですばやく動けなくなっちゃったよ。
カリンのブラッキーがね。
ふざけて声かけたりするからだ、イツキ！
アハハハ〜、そ〜だね〜！
あなたたち…！
本当の意味で顔を合わせるのは初めてだな。
でもアタイにはにおいでわかるよ！
あんたがアタイたちと同じ仮面の子供たちだったとはね。

そして、かならずここに来ると思ったよ。
マサラタウンのブルー!!
ゴク
ブルー、〝かみつく〟!!
ブラッキー〝だましうち〟!!
ブルー、〝あまえる〟。
甘えたところで、〝とっしん〟!!

ヒュ〜ッ
ヒュ〜ッ!
やっるう〜。
でも今日だけは
やっぱしここを
通せないね、
カリン!
今夜はついに
あの人が・・・
時をとらえる
夜なんだからね。
「森のほこら」には!!
近づかせること、
できないね!!
そうよ!
あの人が
仮面の男が
つかわした
この森最後の
番人がアタイたち。
時をとらえる・・・。
やっぱり!!
へえ!
知ってたの!?
そりゃそだね、
知ってるから
ここに来たん
だろ〜し。
そうなると
脱走する時、
あの2枚の羽を
盗んだのも、
偶然じゃ
ないって
ことかな!?

ひぃ…!!
と…、
とり!!
きゃあ!!
アハハハ、逃がさないよん。
“サイコキネシス”!!
あの2枚を盗まれてホントに怒ってたよんあの人!!
絶対許さないって!
だってあの人時間がないっていうのにさ、
ルギアとホウオウ捕まえてもう一度羽を手に入れるのにまた何年もかかっちゃったからねく
アハハハハハハ!!

「にじいろのはね」と「ぎんいろのはね」、あの2枚の羽は時のはざまに入り込むのに絶対必要なんだってさ!
だから命じられてるんだ!
キミだけは「ほこら」に近づかせるなってね!
もうすぐあの人は来るんだよん!あの2枚の羽を材料に「時をとらえるモンスターボール」を完成させてね!
それは誰にもはばめない!でも、もしはばめる人がいるとしたらそれはたった1人!!
く…。
2枚の羽を持ってるキミさ!!

アハハハハハ！
今度はこっちが見〜つけた！
さあ！今のうちにおとなしく羽、出しな！
仲良くしよ〜よ、同じ仮面をつけて修行した者同士さ〜〜〜。
ハア…ハア…あなたたち、アタシから羽を取り返すために待っていたの？
そうよ！
だとしたら残念ね。
アタシは今羽を持っていない、隠してるわ。
そう！
とっても安全なとこにね。
ラジオをお聞…のみ……ん ガガガ…。
大変…す…ガ…ビッガガ〜〜〜。

リーグ会場にガガ…ロケット団残党員たちが顔に半分仮面…つけた…ガガガ…乗り込んで…。

いったいリーグで何が起こっとるんじゃ！おお、ミカ～～～ン!!

お、落ち着け、ば～さん。

ロケット団残党員っていったな。

しかも顔に半分仮面をつけて…。

きっとあんな感じでしょうね。

ああ、そうだな。

ガ～ピピ

…。

なんでだァ!?
リーグ会場に乱入したヤッらがここに…!!
おじさん!
とにかくおじいさんとおばあさんを守らないと!
ピカ!チュチュ!!
!?
タマゴを気にして戦えないのか!
!
おじさん!
ドドすけを使っておじいさんとおばあさんと逃げてください!
あとはボクが…。
わかった!!
よし!
ピカとチュチュはタマゴを守るんだ!

ズイ。。

よし！
無事に
逃げられた
みたいだ！

ボ、ボクの、

帽子を狙ってる!?

ハラ

ハラ

なあ、ブルー。
修行なかばにして逃げ出したあんたらと、その後もあの人の下で訓練を受け続けたアタイたちと、
すべてのことでどう考えてもアタイたちのほうが上なんだよ!

まだわからないなら「力」で見せてやるしかないね!!

見な!!

あ…。
あ…ああ。
あの人が貸してくれたのさ!リーグを襲ったあとはいらないから、好きに遊んでいいってさ。
ほおら、よく見な!!
いや。
いや。

こわいだろうな!!
なにせ自分をさらった鳥ポケモンだからな!!
心の傷のきっかけになった鳥ポケモンが今、目の前にいるんだからな!!
さあ、飲み込まれちゃいなよ!
自分のいまわしい過去にさ!!
いやあああああ!!

ああ…。
第174話
最終決戦VIII

ズバイ
!!
ひっく。
…!!
フフフフ。
すばらしき成長を期待しておるぞ。
…我が手足として…。

フッ！気、失ったか。
アハハハハハ！本物のホウオウを見ちゃった上にボクのネイティオがエスパーの力で「いまわしき記憶」を見せたげたからね〜。

ホウオウにさらわれて鳥ポケモン恐怖症。
くちばしや翼を持つポケモンが怖くてたまらない…か。

いっそ連れて来られた時、シルバー坊やくらいちっちゃかったら、

な〜んにもおぼえてなくて悩まずにすんだのにね〜、アハハハハ。
ぴくっ

…シ、
…ルバー…。

よ…かっ…た、ハア…ハア。
シルバーを…ここに連れて来ないで…安全な場所へ飛ばしておいて…。

…こんな苦しみを味わわせずに…
…すんで…。

あっれえ!? まだ元気残ってたのかなァ!?

あははは

しかもシルバー坊やがひどい目にあわなくてよかっただって!?

サイコ〜におめでたいよ!!

それじゃあ、あらためて絶望の淵に落ちちゃってもらおっかなぁ〜。

キミが連れて来ないでよかったって言ってるのは…。

シルバー!!
シルバー!!
…う
ブルー…
ねえさん…
ハア…ハア…。
安全な場所に
飛ばした
はずなのに…。
ブルーねえさん、
オ…オレだって
強く…なった
…んだよ。
テレポートで
自分の体が
あの場所から
消える直前に…。

相手の
ポケモンから
「もちもの」を
奪う技…、
"どろぼう"…!!

メモが書かれた
「はながらメール」。
用意周到なねえさんのことだ。
きっとこれから行く場所も…
下調べしてると…思った…。

それで
アタシの行き先が
このウバメだと
知ったの?
それで自力で
テレポート空間から
戻ってきたの?

なんで
そんなこと
するのよ!!
連絡をよこさないと
思ったら、
知らない間に
ワタルの配下なんかに
ついてるし…。
ムチャにも
ほどがあるわよっ!!

いっしょに
戦いたかった…。
今度は…オレが
ブルーねえさんを
…守る…と…。

シルバー!?

銀色の瞳…あんたシルバーっていうのね。
ほらしっかり、シルバー。
手袋をぬったのよ。あんたは黒いの、アタシは白いの。
脱走をする前になんとか仮面をはずそーよ!
あんたそんな顔をしてたのね…。
さ、急がなきゃ!
シルバー…。
感動の再会、すんだかい?
ふあ〜〜〜。

なんだい、怒ってるの?
「よくもこんなことを!許さない!!」って言いたげだね〜。
じゃあもう一度!!
今度は間近でホウオウをおがんだらど〜だい!?

!!
あんたたちにお礼を言うわ。ありがと♡
おかげで最後の一線を越えることができたわ!
どういうこと!?
カントー四天王との戦いが終わってから、すべてをシルバーにまかせてアタシが姿を消したのは、
やらなきゃいけないことがあったから。乗り越えなきゃならないことがあったから!

どういうことだと聞いてるんだ!!
克服したのよ!!過去のいまわしき記憶を!!
自分の中の弱さを!恐怖を!

ただこの場で
あなたたちに会って
ちょっぴり決意が
ゆらいでしまっただけ!!
チャリ
アタシが何を
やっていたのか…!
今、見せてあげる!!
行くのよ!!
フリーザー!!
何かする気だ!
ヤバイよ、
カリン!!
ホウオウ!
もう一度!!

サンダー!!
ファイヤー!!

ギャアッ
うひゃあ！びっくりしたぁ。
のん気なこと言ってる場合じゃないよ、イッキ!!
ルギアもホウオウといっしょに借りてんだろ!?早く!!
ハイハイ。
ルギア!!
キィイィィン
アタイはホウオウ!!イッキはルギア!!
相手が伝説の鳥ポケモンだろうと関係ない!!2人で「ほこら」を守るんだ!!
オ～ケ～。

…!?

なに!?

ハァ…ハァ…おまえの相手は…、

このオレだ!!

第175話

最終決戦IX

ゴバババオオオオオ
もう…ダメだ!!!
3分…いや、
あと1分もしないうちにあの行き止まりに突っ込むぞ!!
!?
くッ!!
!!

なに!?

きゃっ!!
う!!
あ、
ああ!?

レッド!!

レッド!!
遅れてゴメン。
治ったのか? 体は!!
ああ。
レッド! どうしてここが!?
今回もこいつが教えてくれたんだ。
そうですわ! カスミに…!
カスミ! レッドが来てくれましたわ!! カスミ!!
あ…。
カスミは切り離された後方車両に…。

リーグ会場は？
ああ、ひどいことになっている！

よし！リーグ会場に急ごう！

師！

ウム！残党どもを押さえつけておく役目しかと引き受けたぞ!!

行って来い！そして…頼んだぞ、グリーン!!

乗れ!!
サイドン!?

オレの新しいポケモンだ。地面タイプのこいつのドリルで地を掘り進む!!
地上にはどんなワナがはられているかわからないからな。

レッド、あなたポケギアは持ってますこと?

いや?

でしたら私のこれを!

何かの時のために!!

サンキュー!!
行って来る!!

いいだろう、オレもそのスプーンの指す方向にのろう！

サイドン、進路変更だ！

ガガガガガガ

いったいどこへ行けと言うんだ？

フッ、さっそくポケギアが役に立つ。

レッド
このマップ画面をのぞいてみろ。
このままスプーンの指す方向に進んだらどこに着く？
ウバメの森
ここは!?

第176話
最終決戦X
キョウ!!
シバ!!

ブイ!!

く!!
"かげぶんしん"か!!

よし!
じゃあ
こっちも!!

久しぶりだな。会えてうれしいぞ、レッド。
そしてグリーン!!
むっ!
え!?
ウーーッ、
ハーーッ!

!!

手伝おうじゃないか。

ウハハハハハ!! 我われはおまえたちと戦いに来たのではない!! 助けに来たのだ!!

ククク、では言っておこう!
オレもシバ殿も、もう二度と誰かの配下につくことはない。

オレたちが追求したいのは自分たちの戦いだけだ。おまえたちには…、それを伝えたかった。

フッ。

生きていたんだな?
ああ。

あの時スオウ島で「ベトベとんの術」で地下から逃れたオレだったが、
激しい島の地殻変動で身動きがとれなくなってしまっていた。

そんなオレを助けてくれたのが、
シバ殿だった。

グリーン…、おまえとともに戦った四天王戦、その中でオレはある感情を持った。
それは自分自身を研ぎすますことで得られる戦いの充足感だ!

これまで
主君のために
生きてきたオレが、
はじめて自分の戦いを
つきつめたいと感じた。

グリーン!!
そしてレッド!!
おまえたちとの
再戦を
果たすために!!

時を同じくして
出会った、
似た考えを持つ
シバ殿。
オレとシバ殿は
互いに修練しあう
友となった。

その意気込みで
リーグ会場に
行った!
おまえたち2人も
必ずあの場に
来るはずだと
ふんで…。

ところが
あの騒動だ!!

本心を言えば
今すぐにでも
ここで
おまえたちと
戦いたい。
だが先を急ぐ
おまえたちを
引きとめることが
できないのも知っている。

だから今は
行って来い!!
そして
勝って来い!!
そのあとだ!!
修練をつんだ
我らと手を
合わせるのはな!!

さあ！今のが最後の岩盤だ!!
わかった!!
そうだ、レッド！
え？
セレビィというポケモンを知っているか？
セレビィ？
初めて聞くけど…それは？
別名「ときわたりポケモン」。
その名のとおり、時間を渡る能力を持っているらしい。
セレビィを手中にしたものは過去にも未来にも行けるという。

!!
グリーン見てくれ!!
進路か？右、左、どっちだ。
右でも左でもない!!
真上だ!!

ゴゴゴゴ

ここが目的地か!!

これは!!

グリーン どうした?
かすかに 鳴ってる。
何が?

え!?
ピピピピ
ピピピピ
じゃあブルーも この場所に 来てるのか!!

オレと おまえの ポケモン図鑑が。
ピピピピ

ブルーといえば レッド、おまえの 持っている カメックスは…。
ああ、ブルーから 借りてるんだ。

シロガネ山へ 行く途中で 偶然会った時、 危険な場所だから 持って行くと いいって…。

でもカメックスは ブルーの飛行手段 でもあるだろ? いいのかって 聞いたんだ。 そしたら…。
そしたら?

「空を飛ぶことの 心配はもう いらないから」って。
どういう意味 だったのかなあ?

おそらく ああいう 意味だった んだろう。

ブルー!!

レッド!
あなたたちも
この戦いの場に…!
よオし!!
グリーン!
第177話 最終決戦XI

ブルー!!
レッド、グリーン、乗って!!

第177話
最終決戦XI

きゃあああ!!
うわっ!!
ブルー!!

うひゃあ!!
!!
フリーザー、久しぶりだな!
でもなんでおまえたちがこのウバメに?
おまけにおまえたちと一緒に戦ってるのが鳥恐怖症のブルーだなんて…。
レッド!
今飛びかかってる2匹は伝説に伝えられるルギアとホウオウだ!
動きを見るとこいつら…この森に何者をも近づけまいという勢い…。
ということはやっぱり…!!
ああ!さっき聞いたセレビィの話…。
リーグを襲った敵の最終目的はそれだ!邪魔が入らないようこの森にあの2匹を配したにちがいない!!
その敵を阻止しようというのが…。
ブルー!!

!!
うわあああ!!
行くぞ!!
うわっっっ!!
一度距離をとれ!

!!
カリンがいない…!?
どこ探してんだい?
アタイはここだよ!!
ダッ
いつの間に…!?
行きな、ブラッキー!!
ブルー!!

いい感じで日、暮れてきたじゃないか。
夕月も出てきたね。
"つきのひかり"だよ!!ブラッキー!!
キイイイン
はうっ!!
くっ!!
アハハハハ!!いいザマだねえ!!

楽な生き方しよ〜よォ!シルバー坊や!!

そんなに気ばってど〜すんのさ!?

生き方か…。

それを考えるならやはりオレは自分の生き方を変えることはできない!!

同じ境遇のおまえならわずかでもわかるはずだ!!

同じ境遇〜!? アハハハハハ!! ホントにそう思ってたの!?
ボクたちもキミらのように連れ去られて来たかわいそ〜な子どもたちだって!!
!?
冗談プ〜で笑っちゃうよ!!

ボクたちはね、自分から弟子入りしたのさ!
あの人ンとこにね!!

なんだと!?

ボクもカリンも天才すぎたんだよね〜。
ちっちゃいころからポケモンの扱いだってどんな大人にも負けなかった!

つまんなかったのさ! も〜〜っと強い刺激、も〜〜〜っと愉快なヒマつぶしを求めてたどりついたのがあの人ンとこだったワケさ!
この戦いだってボクらにとっては…、う〜ん…。
一種のレクリエーション、遊び…だね!!

遊び…か。

どしたの？
また
怒ったァ？

怒る？

いや、
喜んで
いるのさ。

この森で
おまえたちと
顔を合わせてから
どこかに
ためらいがあった。

同じ境遇である
おまえたちに拳を
向けることに!!

だが、今の
言葉を聞いて、

この技を
浴びせる
ことができる!!

何を…。

〝ふくろだたき〟!!
ハア。
ハア。

ネイティオ、
〝サイコキネ…。

おまえには
遊びだったかも
しれない。
だが、
オレにとって
この戦いは
自分自身の
運命に決着を
つける…、
すべてだった!!

そのために
ポケモンたちと
修練してきた!
そしてオレたちの
得たものはこれだ!!

〝おんがえし〟!!

あわわわわ。

じょ、冗談じゃないよ〜〜。
ガリ
ガリ

ポケモンがトレーナーに極限までなついてないと威力を発揮しない技、〝おんがえし〟であれだけのパワーを出すなんて、
シルバー坊やもポケモンたちもすさまじすぎる執念だって〜〜。

カリン、もうやめようよ〜。
こいつらマジすぎだよ。ちっとも楽しくないよ〜。

もともとあの人にそこまでする義理ないし〜〜。
ボク、もうサヨナラするからね〜。

ハア。
ハア。

決着を!!

ハア。
ハア。

なんとかロケット団残党はまくことができたみたいだ。
ピカやチュチュ、おじさんたちに追いつきたいけどハア、ハア…。

それにしてもなぜ残党員たちは…、
ボクの帽子を狙っていたんだろう？
ザワ…
それにこの森のざわめきは…。

第178話
最終決戦XII
てめえはチョウジジムリーダー……、ヤナギ!!
…そうだ!
おっと!!動くんじゃねえぜ!!

氷でできた体にちょこんとはまった車イス…。
ハア、ハア、手足が伸び縮み自在、穴が空いても動きつづけるてめえの体…。そういう仕組みだったのか…。

時間を支配してなにをしようとしていたのか知らねえが、
どうせロクでもねえことに決まってる!!

だから好きにはさせねえ!!
オレの言いたいのは以上だぜ!! 観念しな!!

なに!?

!!

ヤロオッ！通りすがりの関係ねえポケモンにまでっ!!

キューを捨てろ!!

これは?

ヤナギのおじいちゃんの杖や!!

ムッ!見ろ!!

中身は特注品のポケギアだ!!
パカ
受信アンテナ!小さなモニターもついている!!

どんな映像を受信していたのか…。

!!

これがカラクリか…。
どういうことなんです?

オーロラビジョンがスズの塔の様子を映し出した時この会場にすべてのジムリーダーがそろっていた！
そう！ヤナギも含めて!!

それこそがヤナギの作戦だった!!
自分を犯人の候補からはずすため影武者を演じる「氷人形」がスズの塔で立ち回ってる光景をわざとオレたちに見せる。

おそらく氷人形の目にはカメラが仕込まれていてそれが見ている光景をポケギアを通してヤナギに送っていた。
それによってこのセキエイにいながら別の場所でもポケモンバトルをすることができた！

影武者…氷人形…。
ああ。

でも、自分のポケモンへの命令は？

ちょっと貸してみ？

おじいちゃんはいつも杖をこう鳴らしてた。
クセかなって思ってたんやけど今、わかったわ。
コン
コン

モールス信号ってあるやろ？
あれと同じやったんや！
なるほど…。コン・ツー、コンコン・ツーと長短の信号を組み合わせ、
タ・イ・ア・タ・リ
その振動をポケギアが読み取って送信する…。
コンコン
ツーッ!!
それがポケモンへの命令なんだ！
ピ…ガ
ザー
ザ…ガガ
ギリ
ギリ
やめろ！…タマゴをかかえてるじゃねーか!!
そのポケモンたち、

くっそォ!!
それでいい…。
ぱっ
うわあぁ!!
ガコン。
本来なら「顔を見られたからには生かしておけない」という場面だが、
それももう必要ない。
ど、どういうことだ!?
二度と会うことはないということだ。
これから私は別の時代に住む!!
誰も私を追ってくることはできないんだよ!!

ダダ
ゴロゴロ
ガガガッ
どうした、反撃しないのか!?
そうか、そのポケモンたちとタマゴを守るというのか!!
ぐ……!!
バカめ。ならばそのまま遊んでいろ。
私は早く試したくてたまらないんだよ。
自分が本当に「時のはざま」に入りこめる存在になったのか、
試したくてたまらない!!
ギュオオオ
成功だ!
ボールは完成した!!
ドギ
ドギ

ドッ
…く…。

くそ…体が…
ちくしょう…
…勝て…ねえ。
ハァ、ハァ
ヤツには…
かなわね…え
このままじゃ。

…おお。

ゴ、
ゴールド…。

ギュオオ

イヤ…、たぶんちがう。
おまえと会う時があれば渡してほしいとだいぶ前に預かったものじゃからな。

これまでわしのもとから図鑑を持って旅立った少年少女たちは、それぞれ個別の能力にたけていたように思う…。

それはひとつひとつがトレーナーとして大切な能力ばかりじゃ。

わしは「ポケモンとトレーナーの関わり」を研究する者としてつねに彼らのことに目を向けてきた。

レッド。リーグ優勝経験もある"ポケモン戦闘"の第一人者。「戦う者」じゃ。

グリーン。ポケモンを鍛えるのがうまい。"ポケモン育成"「育てる者」じゃろう。

イエロー。ポケモンを「癒やす者」。能力は"回復"。

クリス。捕獲の専門家。"ポケモン捕獲"「捕える者」じゃ。

クリスから聞いた名前ばかりだ…。
言ってみりゃあオレの先輩たちだが…。何が言いてえんだ、オーキドのじいさん!!

!!

そしてブルーとブルーを実の姉のように慕う少年、シルバー…。
ブルーがわしに心を開いて隠さずに話してくれた過去のことから推察するに、わしのところから新図鑑を盗っていったのはシルバーじゃろう。

ブルーとシルバーはかつて"進化"と"交換"を学んだという…。
ふたり合わせて「化える者」と「換える者」じゃ。

あれ?

お、おいおいどーゆーこったよ?
これでおしまいかよ?

知りてえのはこの先だぜ!!
オレのトレーナー能力の話がよォ!!ねえんじゃねえのか、ジジイ!!

だったら何か!?オレにはねえのか!?
ほかの図鑑の持ち主たちと立派に肩を並べられるような能力がねえってことなのか!?
ゴ、ゴールド落ちつかんかい!!

ま、まさかあのジジイ、オレに「この戦いから降りろ」って言ってんのか?
オレにはなんにも誇れる能力がねえから、身のほどを知ってこの戦いから退けってそう書いてえのか?

イヤ…、そんなはずねえ…。
オレだって…。

オーキドのじいさん! たのむ!! 教えてくれ!!

教えてくれえええええ!!

たのむジジイ、教えてくれ…。
教えてくれ…。

!?

ムク
ムク
!!

ピカとチュチュのタマゴが…、
大きくなっていくぞ!!

オ、オイ!見ろ!!
封筒の中にオーキド博士からの手紙がもう1枚はりついていたぞ!!

わしが見出した図鑑所有者たちの6つの能力…。
戦う者（戦闘）！育てる者（育成）！癒やす者（回復）！捕える者（捕獲）！
化える者（進化）！換える者（交換）！…そしてゴールド。

それらにつぐ7番目。それこそ…、
おまえの持つ能力…!!

孵す者

「ポケモン孵化」じゃ!!

う、生まれた!
はじめて見るポケモンじゃ。
ゴールド、おまえいつからこのタマゴを…。
いや…ついさっき、抱いていたのは一瞬だぜ…。
ただ…夢中で守ってた…。
戦いにタマゴが巻き込まれちゃいけねえと…。
しかし、おまえが手にしたことで孵った…。
トン!
オイオイ!!
それはまちがいなさそうだぜ!

なんだ、なんだァ!!
ゴールド!!
ゴゴゴゴゴ
追うっていうのか!?
ヤナギを!?
よおおし!!
行くぜえええ!!

ミナキさん…。

フッ、大丈夫だ。
水晶壁内での戦い、思いのほか手こずってしまった。

ボロボロなのは彼だけじゃないよ。
私も…マチスも…もはや戦える状態じゃない…。

そして…、
スイクンも…。

スイクン…、向かおうとしているのね。
ラストバトルの地へ…。

この戦いの結末を見届けたいのね、…ハア、ハア。

でもごめんね…、
わたしには…もう
いっしょに行ける
…だけの力が…。
新しい
パートナーを…、
ここにいる
メンバーから
選んで…。
どきどきどきどき
スゥ…
あ、
あたし?
…!!
これは…!?
ポト
やっぱり…。
フフフ、それ
スイクンが
ずっと
持ってたの…。
あなたの片方だけの
イヤリングを
見た瞬間から
そうじゃないかと
思ってた…。
…きっと決めて
いたんだわ…。

…そう、それがわたしの生き方…。

わたしの…誇り…。

最初からわかってた…。

最後にとなりにいるのはわたしじゃないって…。

スイクンを…、
たのむわ…。
わかりました!!
スイクンが行くのならこの2匹もじっとしてはいないだろう。
連れていってやってほしい…。
いいだろう、マチス?
ケッ!勝手にしやがれ!
スイクン…。
ライコウとエンテイも行きましょう。
仮面の男たちが向かったのはヒワダの方向…。
パチン
ゴールド、わたしも行くわ。
さあ、みんな
急いで!!

おーい！ミナキィ――!!
ぐす…
おお!!
心の友!!
ずいぶんハデにやられたな。
そっちもな。

しばらくだな！
ああ！だが、行かせてよかったのか？スイクン…。

なぁに、私の今回の活躍はスイクンの脳裏にしかと刻みこまれたはず。
きっと次は私のもとに来るだろう。
なんたって命の恩人だし
そうだな…。

おまえこそホウオウを見て冷静じゃいられなかったろう？
ああ。

ずっとあこがれていた「虹色のポケモン」が、
いきなり会場のオーロラビジョンに映ったんだからな。

だがオレはジムリーダーだ。
あの騒ぎの中で自分のあこがれより人々の安全のための戦いをとることは当然だ。

今、この瞬間も、
もし人々を傷つける者がいるのなら…。
!!
仮面の男が残した氷の下半身は、
まだ空気中の水分を自動的に集めて再生している!!
なんだって!?
どうした!?
ぐあ!!
きゃあああ!!

アカネちゃん!!
クルミちゃん! 無事やったんか!!
ドブルくんがこんなごっつい炎を…!? いつの間に!!
さっきの戦いを見ていた時、エンテイの炎技を"スケッチ"したの!
目にした攻撃を自分のものとしてかきとめる技"スケッチ"か…、助かった。
それにしても恐るべきはヤナギ老人の実力…、これほどまでとは…。
ム!? …これは!!?
…下半身だけでも動き、再生をくり返していたこの氷のかたまり。
だが、今の攻撃を受けた後は、すっかりその勢いを失っている!
待てよ! ドーブルの"スケッチ"が技そのものだけでなく、
エンテイの持つ「炎の性質」までをも写しとっていたとするならば!
さあ、まだ逃げ遅れてガレキの下になった人たちがいるかも! 救出はここに残ったボクたちの役目だ!
急ぎましょう!!
よっしゃ!

第179話　最終決戦XIII

ずっとラジオを
聞いてます。
途中で聞こえ
にくくなって、会場で
事件が起こったことを
知りました。
開会式はどうなった
んでしょうか？
とても心配です。
キキョウシティ
ラジオネーム ゆい

ファックスは
無事だったのか…。
ベー

「会場に悪いヤツが
やってきてリーグを
メチャクチャにしたと
いうのは本当ですか？」。
「ラジオずっと
聞いています。
フスベシティ
ラジオネーム・ジュン」。

「今すぐ会場に行って
ジムリーダーさん
たちを助けたいです」。
「ヤマブキシティ
ラジオネーム・ナオヤ」。

放送は事件が
起きてからも
ずっと全国に
流れていたのか。
そして
ラジオを聞いた
少年少女
トレーナーたちから
こんなにファックスが…。

「ボクのポケモンは役に立たないかも知れません」。
「でもいても立ってもいられません」。
「ポケモン転送システムがもし使えたらボクのありったけのポケモンを助太刀に送るのに」。
「システムが不通なのが残念でたまりません。同じように思ってるトレーナーは全国にたくさんいると思います」。
転送システムの故障…。
システム自体に異常はなかったのになぜか回復せえへんかった…。何度やっても…。
!?
システム自体には異常がない…!?
そや!! なんで!! なんで気づかへんかったんや!!
マサキさん!!
第179話
最終決戦XIII

ハア……。
ハア。
ハア…。
コントロール・ルーム…。
この会場の全機能をつかさどるリーグの中枢…ここもメチャクチャやけど…。
カチャ
カチャ
たのむ…!
わずかでも生きてる機能があってくれれや。
ハア…ハア。
マサキさん、何を…!?
ナナミはん。
急いで確かめたいことがあるんや。
ポケモン転送システムに関して!!

このセキエイにかて当然転送システムは通ってる。
このコントロール・ルームからアクセスできるはずや。

よいしょ…。いてて!!
マサキさんムリをしないで。私をかばったせいで傷を負っているのに…。

たいしたケガやおまへん…、気にせんと…。
ジムリーダーたちかて戦ってるんや。それにくらべたら!!

…。
うくん!!

手伝います!ラキっち。
ナナミはん…。

システムが不通になってからもう1年以上。
実は外部の人間がシステムに手を加えていた可能性も調べていたんや。

でも、その確証はつかめへんかった。
カチャ!

ええ、私もおじいさまから聞いてます。原因は不明だと…。

でもナナミはん、
わいはとんでもない
勘違いをしてたの
かも知れへん。
外部の人間の
侵入があったとしても
それはシステム自体への
細工とは限らへん。

たとえば
「エネルギー」……。
エネルギー補給状況
メイン動力室
86%

エネルギー補給状況
メイン動力室
0%
カチャ
あ!!

やっぱりや!!
細工された
モニターに
だまされてた
なんて!!
システムを動かす
エネルギーが盗まれ
つづけてたんや!!
おそらく…
あいつらに!!

カラクリは解けたで!
あとはシステムに
エネルギーを
供給するだけでええ!!
カチャ
カチャ
カチャ

でも
補給すると
いっても
どこから?

どこでも
ええ!!
どこかに!!
格納庫主電
0%
ステージスライドシ
0%

どこかに残っているエネルギーをかき集めればなんとか!!

ムリだわ!ここまで破壊されて…、システムを再び動かすだけのエネルギーなんて…。

ムリでもせなあきまへんねん!

システム開発者のわいがやらんと!!

0%

ナナミはんも見ましたやろあの全国から届いてたファックス…。

あの声にこたえんとあきまへんねん…。

マサキさん…。

全館照明システム

0%

く…、くそ…。

!!

マサキさん、これ!!

戻ってきたリニアの後部車両に!?
リニアモーターカー動力
317%
どうして…。

…そう マサキたちには知るよしもなかったが…
リニアの中に逆走するために注入されたエネルギーが残っていた!

…ライコウが残した…!!
莫大なエネルギーが…!!

トゥルルル

もしもし!
ディレクターはんてつか? マサキです! また放送は流れてまっか!?

ああ! だがいったい何を?

そしたら放送してください！全国へ向けて！
転送システムは復旧すると!!

今、キミたちの力がほしいと!!

よおし、
わかった!!

コガネラジオ…くり返します。ガガガ…今回の事件で…1匹でも多いポケモン…ガ…ガ…救援を全国に要請します!!

現在、戦いの場は…ガガ…ガ…ウバメ近くへと移動……ヒワダの…ガピ…センターへ向けてあなたの…力を…。

ふうむ…。

ここは
わしらの
出番の
ようじゃぞい!!

そして
すべての
ポケモンを
愛する人間
たちよ!!

今起こってる
危機に!!

わしらの力を
結集させるのじゃ!!

届け…!!

ヒワダタウン
ポケモン
センター
ヒワダタウンポケモンセンター
POKE
ぽこ
ぽこ
ぽこ
ぽこ
ぽこ

く…う。
ああぁぁぁ!!
ブルー!!

ありがとう、グリーン。
……。
大丈夫か、ブルー!?
ええ!!
あとわずかでもルギアとホウオウとの距離をつめられれば、
サンダーの電撃やフリーザーの氷攻撃が有効なんだが…!!
ああ。
そのわずかがつめられない!!
く!!
考え方を変える必要があるな!

伝説と呼ばれるあの2匹、

本来ならトレーナーにつくことのない存在だ。

それがここまで敵の支配下に置かれているということは…。

逆にその呪縛から解き放ってやることが先決!!

確かにそうだけど…。

でもどうやって…。

!!

な、なんだあれは!?

ヒワダの町から
ポケモンの
大群が…。
ルギアと
ホウオウに
向かって行く!!
それは
全国中の
トレーナーの
想いのすべて
だった。
「この戦いを
くい止めたい!」
その想いが
ポケモンたちに伝わり、
ひとつひとつは
小さかったが、
それらが合わさり
大きな力となった。
ルギアと
ホウオウを悪の
支配から解放する、
大きな力に!!
何かを感じる!
まるで…、
凍てついた心を
解かすような…。
あたたかな…
…力…。

ルギアとホウオウが暴れるのをやめた！
アタシたちも降りましょう。

2匹が天へ帰っていく。
悪しき呪縛から解き放たれて…。
ああ!たくさんのポケモンたちの想いが悪に勝ったんだ!!
おかげであのほこらにオレたちを近づけまいとしていた敵の思惑は消えた。
さあ、ブルー!
フリーザーとサンダー、それに上空のファイヤーもボールに戻してくれ!
え?
ええ。
パシュ
パシュ
パシュ

オレたち、やっぱり最後はこの3匹だろ!?
返しとくよ!!
行くぞ!!

ホラ〜、なんだかたくさん集まっちゃって！ルギアとホウオウまで解放されちゃって!!この場は…。

ダメだ。

わ!!

…逃げることは許さん…!!

あ、あなたは
マスク・オブ・アイス!!
仮面とマントは
どうされたので…、
ぐぎゃ!!
しつこく
はむかう者が
いてな…。
時の
はざままで
追いかけて
きたが、ひとまず
片づけた…。
…ところで
イツキ…。
あれほどここに
誰も近づけるな
と言っておいた
ではないか!
ところがどうだ、
このずいぶん
にぎやかな気配は?
そして…、
草陰に
いるのは。
オレだ!
やっと
会えたな!!
こっちも
いるわ!!
ダッ

ルギアとホウオウとの空中戦は制した!!
おまえの持ちゴマはもうない!!
わたしもいます!!
クリス!

みんな!

イエローー!

イエローさん!!

わ。

ピカにチュチュ!!

バクたろう!

おまえの野望、今こそついえる時だ!!
これだけの戦力を前にもはや太刀打ちできまい!!
!?
ゴールドだけがいない!!
仮面の男の正体はヤナギ老人…!!追っていったゴールドは…まさか!!
ゴールド!どこにいるの!?
〈ポケットモンスタースペシャル第14巻おわり／第15巻へつづく〉

TO BE CONTINUED

ルートマップ14

セキエイから最終決戦地ウバメへ！ 集結する図鑑所有者たちの移動の軌跡を…ここにチェック!!

POKEMON Battle!!

ポケモンバトル!! 冒険ルートマップ14

最終決戦 X

最終決戦 VII

最終決戦 XII

最終決戦 XI

最終決戦 VIII

最終決戦 XIII

ゴールド

ヤナギを追走。その先で激しいチーム戦を展開▶

イエロー

ブルー

シルバー

正体を見せたヤナギと6人がついに対峙!!

逆走し会場へ戻った後方車両。伝説三匹のパートナーの他に乗っていた彼らが会場救助にあたる。

小特集1 これが!仮面の男だ!!
徹底解説五項目

ついに正体が判明した仮面の男。目的から能力まで、氷使いヤナギが構築した悪の仕組みの数かずを詳細に解説しよう

01 目的

時間を越えるため「ときわたりポケモン」と呼ばれる伝説の存在セレビィをその手にとらえること。これが仮面の男ことヤナギの目的だった。幼児の誘拐、R団残党の利用などは全てこのため。まさに究極の私欲だ!!

▲相手の内面を本能的にかぎとるスイクンらはヤナギをさけた。

02 分身

老いた身でほとんどジムから外へ出ないというヤナギは氷人形を自分の分身とし作戦を実行させていた。彫刻家であるヤナギが作成した氷人形はヤナギの氷ポケモンとともに出撃。離れた場所で戦闘や捕獲を行なう。

◀▼伝説のポケモンでさえ、本人が出向かずして捕獲!恐るべき実力。(第149話他)

03 装備

氷人形を操るための装備が、この仕込み杖。内部に特製ポケギアを組み込み分身の見ている光景をヤナギに送る。さらに床を叩く振動を命令に変換しポケモンに指示。常識をこえた離れ業だ!(第178話)

◀振動の長短を組み合わせ、モールス信号のようにして発信する。普段から命令時に言葉は発さない。

▲特殊なすべりどめタイヤをほどこした車イス。タイヤにはまだ隠された仕掛けがあるらしい!

▶本来の専門・氷以外も含めたセレビィ捕獲部隊。（第103話）

04 手持

ヤナギの狙いであるセレビィの詳細は明かされていないが、タイプは「草・エスパー」のようだ。そのセレビィゲットのために草に強い炎・氷・毒・飛行、エスパーに強い虫・ゴースト・悪の全タイプを手持ちとして用意している。

05 身体

空気中の水分を操り、変幻自在の氷の身体を作る。自ら「仮面の男」として出撃する際には車イスごと氷でつつみ、その上にマントをはおって体を隠す。攻撃で破壊されても再生が可能な"永久氷壁"だ！（第172話）

◀登場の度に体格が変化することも正体を特定しづらくさせていた理由だった。

完成！時間をとらえるモンスターボール!!

ヤナギがセレビィ捕獲のため完成させたがっていた特殊なボール。[illegible]に「[illegible]いろのはね」「[illegible]いろのはね」という2枚で編んだ捕獲網が仕込まれ、ついに完成の時を迎えた。ヤナギは時間支配を達成してしまうのか!?

▲セレビィが現実空間との出入り口にしてい

▶2枚の羽の力によって再び「時間のは

小特集② これが!図鑑所有者たちの能力だ!!
～徹底解説七項目～

これまでオーキド博士のもとから図鑑を持ち旅立った7人。彼らにはそれぞれ特別な能力があった。その能力とは!?

01 戦う者

レッド。リーグ優勝経験もある戦いの第一人者。その抜群の戦闘センスは天性のものといえる。"ポケモン戦闘"が彼の能力だ!!

"じこあんじ"!!

▶相手の策をも利用する特殊な戦闘。瞬時の判断!(第176話)

02 育てる者

グリーン。手持ちをクールに鍛え上げることに関しては右に出る者はない。"ポケモン育成"は厳しい修練のたまものだ!

▲対抗戦では新しく育て直したチームで参戦。師も認める力!(第162話)

03 癒やす者

イエロー。傷つき疲れたポケモンを元気づける優しき力。"ポケモン回復"というこの能力はトキワの森から受け継いだものだ。

ポウ!!

▲ポケモンセンターの機械に頼らずとも『気』によって傷を治せる。

04 捕える者

クリス。「捕獲の専門家」と呼ばれる腕前は見事というほかない。幼いころからの特訓で身につけた能力"ポケモン捕獲"だ…!

▲次つぎ届くボール。研究用データが蓄積されていく。(第121話)

05 換える者

06 化える者

シルバーとブルーが仮面の男のもとで特別研究したというテーマがポケモンの"交換と進化"だ。もともとこの2つの要素は関連づけて語られることが多い。その意味では2人でひとつの能力だとも言えそうだ。

▼3年前のシルフと似た状況。ブルーから聞いた進化の知識を思い出すシルバー。

▲交換により危機を脱す。シルバーの機転が生かされた。（第109話）

▼石による進化を熟知するブルー。これが勝敗の決め手に。（第32話）

07 孵す者

ポケモンをタマゴから孵す。本人も気づいていなかった隠された能力、それがゴールドの"ポケモン孵化"だ。生まれてきたポケモンはゴールドの影響を強く受け能力を開花させるらしいが…!?

▲シルバーに勝ちたいという想いの中で誕生！（第107話）

▶誕生した新ポケモンとともに消えたゴールド。彼は今どこに…!?

▶ヤナギの攻撃から必死に守ったタマゴから飛び出したのは…（第178話）

次巻予告！

セレビィを手にし、ついに『ときわたり』を実現したヤナギ！　なすすべのない図鑑所有者たちの前に、その時現れたのは…!?　今、決着の瞬間!!

「シルバー、クリス!!
おめえらと出会ってから
いろんなとこ行って
いろんなヤツら見て、いっぱい戦って
おもしろかったぜ、
すっげーおもしろかったぜ！
…ありがとな!!」

…そして始まる、
新たなる伝説!
ポケットモンスターSPECIAL第15巻!
時間を…越えろ!!!
日下秀憲
山本サトシ

てんとう虫コミックススペシャル　「小学四年生」「小学五年生」「小学六年生」連載作品

ポケットモンスタースペシャル 14

2003年2月25日　初版　第1刷発行　（検印廃止）
2007年10月20日　第19刷発行

シナリオ　日下秀憲
まんが　山本サトシ
©Pokémon
©1995-2000 NINTENDO／CREATURES inc.／GAME FREAK inc.
発行者　黒川和彦
印刷所　三晃印刷株式会社
PRINTED IN JAPAN

発行所　（〒101-8001）東京都千代田区一ツ橋2の3の1
TEL 編集03(3230)5392
販売03(5281)3556
株式会社 小学館

ISBN4-09-149714-4

編集／菊池 徹・宇佐美 亮　編集協力／長澤優美子
本文デザイン／クスコムーチョ

『時間をとらえる!』 ゴールドの手により暴かれた
仮面の男の目的、そしてマスクの下の素顔!!
伝説のポケモンと図鑑所有者たちが
ぞくぞくと集結するウバメの森で
息をのむ攻防が展開する!!
想像を超える第3章最高潮、
その時…ゴールドは!?

ポケットモンスター SPECIAL 14

最終決戦 I

最終決戦 II

最終決戦 III

最終決戦 IV

最終決戦 V

最終決戦 VI

最終決戦 VII

最終決戦 VIII

最終決戦 IX

最終決戦 X

最終決戦 XI

最終決戦 XII

最終決戦 XIII

9784091497147

ISBN4-09-149714-4

C9979 ¥438E

1929979004385

定価：本体438円＋税

雑誌 45307-14　　小学館

『時間をとらえる!!』ゴールドの手により暴かれた
仮面の男の目的、そしてマスクの下の素顔!!
伝説のポケモンと図鑑所有者たちが
ぞくぞくと集結するウバメの森で
息をのむ攻防が展開する!!
想像を超える第3章最高潮、
その時…ゴールドは!?